

(4) 本時の学習

①目標

ごみの処理や利用が自分たちの生活と深くかかわっていることを理解するとともに、地域社会の一員としてごみの減量やリサイクルなど自分たちにできることを考え、進んで取り組もうとする態度を養う。

②展開

教師

【ポイント①】

○ 前時の振り返り、課題の把握などについては、児童のこれまでの学習状況を踏まえて行いましょう。

【ポイント②】

○ すべての児童が分別の体験をできるように、「体験時の約束事」等を事前に打ち合わせておきましょう。

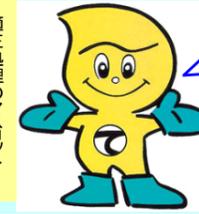
【ポイント③】

○ ごみ収集車の見学では、質問する時間を設定し、自ら学習課題を設定・解決しようとする態度を育成しましょう。

【ポイント④】

○ 学習活動4では、児童自身が実行可能で具体的な取組を考え、表現できるように指導を工夫しましょう。

適正処理のマニット
てき丸くん



この講座を活用したい時は、右のアドレスにアクセスしてみてください。

【問い合わせ先】 一般社団法人
熊本県産業廃棄物協会
<http://www.kuma-sanpai.or.jp/>

産業廃棄物協会

【ポイント⑤】

○ 児童に分かりやすい「話し言葉」と「書く言葉」が必要となります。小学校4年生に合わせて説明を行いましょう。

【ポイント⑥】

○ 熊本県や自分の住んでいる市町村のごみの量などに関するクイズを出すなどして、児童の関心を高めるようにしましょう。

【ポイント⑦】

○ ごみを分別した結果、どのように再資源化がなされるかを実物を用いて説明し、分別の目的について理解を深めましょう。

【ポイント⑧】

○ 児童から出された意見に対して、認めたり励ましたりすることで、児童の意欲をさらに高めましょう。

| 過程 | 時間 | 形態 | 学習活動 | 指導上の留意点 | | ●評価 |
|-----|----|----|--|---|---|---|
| | | | | ◆【教師】 | ◇【産廃協会】 | |
| 導入 | 20 | 斉 | <ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習の振り返りをする。 1 ごみの排出量や不法投棄等の現状について話を聞く。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ごみをへらすために、私たちにできることは何だろう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 単元全体の学習について振り返り、本時の学習に見通しを持たせる。【ポイント①】 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 児童が実感しやすいように、住んでいる市町村の身近な事例について紹介する。【ポイント⑤⑥】 ◇ 取組を進めているにもかかわらず、不法投棄がなくなるという現状を伝える。 | |
| 展開Ⅰ | 40 | 個 | <ul style="list-style-type: none"> 2 実物を使ってごみの分別を行う。  | <ul style="list-style-type: none"> ◆ これまでの学習がどの程度分別に活かされているかを確認するために、分け方の理由を児童に問う。【ポイント②】 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 専門的な見地から、日頃気を付けていることや苦労していることについて話し、ごみの処理の大変さに気付かせるようにする。【ポイント⑦】 | <ul style="list-style-type: none"> ● ごみの処理にかかわる対策や事業に関心を持ち、意欲的にごみの分別をしようとしている。(観察) |
| | | 斉 | <ul style="list-style-type: none"> 3 ごみ収集車の働きについて見学する。  | <ul style="list-style-type: none"> ◆ ◇ 収集車に近づきすぎないように児童の動きに十分注意する。【ポイント③】 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ ごみ収集車のはたらき等に関する児童の質問に分かりやすく回答する。 | |
| 休憩 | 10 | | | | | |
| 展開Ⅱ | 20 | 個別 | <ul style="list-style-type: none"> 4 地域社会の一員としてできる具体的な方法について考える。 ① 個で考える。 ② シートに自分の考えを書く。 ③ グループで意見交換する。 ④ 「約束の木」に貼り、発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ グループの学習に入る前に、自分自身で考える時間を十分確保する。【ポイント④】 |  | <ul style="list-style-type: none"> ● ごみの問題と自分たちの生活を関連づけながら、ごみを少なくする方法を考え、表現している。(学習シート等) |
| 整理 | 10 | 斉 | <ul style="list-style-type: none"> 5 本時の振り返りをする。 ・ 教師と協会の方の話を聞く。 ・ 産業廃棄物協会の方々へ御礼を言う。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ ◇ 教師が本時の振り返りを担当し、協会の方が児童のがんばりを認め、身近なことから環境について考えていくことの重要性について説明する。【ポイント⑧】 | | |

★前時までの学習の振り返りや本時のまとめの時間は、担任の先生が担当するなどして、役割分担を明確に行い、効率的に学習が進められるようにしましょう。